

**植物原料100パーセント！！
栽培する人、食べる人の気持ちになつてつくる堆肥をお届けします。**

土づくりのパートナー 堆肥製造専門 ERC (株)エコリサイクルセンター

ERC

[TOP](#) [生産工程](#) [工程別生産規格](#) [堆肥づくりの勘所](#) [Q&A堆肥](#) [製品紹介](#) [ショッピングカート](#) [会社概要](#) [お問い合わせ](#)

製品情報

生産工程

土から生まれたものを、土(畠)に返す…

工程別生産規格

ERCの堆肥良質の原点

堆肥づくりの勘所

発酵 90日、じっくり時間をかけて…

Q&A堆肥

堆肥の使い方、お問い合わせ集

製品紹介

製品一覧 販売カタログ



■会社概要
株式会社 エコリサイクルセンター
郵便番号：311-3412
住所：茨城県小美玉市川戸1143-1
TEL：0299-58-7161
FAX：0299-58-7162
E-Mail：erc@peace.ocn.ne.jp

■ショッピングカート
・お支払い・送料等について
・法規に基づく表示

■お問い合わせフォーム

■掲示板

■リンク集

■サイトマップ

人と自然と時間が創る本物の土
植物原料100パーセント
栽培する人・食べる人の気持ちになつてつくる堆肥

ERCの事業コンセプトについて

基本コンセプト・・・企業理念

ERCは、リサイクル社会といわれる中で、（社名にもエコリサイクルという言葉を用いている様に、）（有機物の）リサイクルシステムを運営・管理している会社です。

このように、ERCは、有機物のリサイクルを「堆肥生産」という形で実現しています。

ERCの運営において重要なコンセプトは、

土から生まれたものを土（畠）に返す

としています。

自然界の樹木や草等の植物が、人間社会の都合（開発・土木工事）により不用となった場合、ゴミすなわち無価値なものとなります。

この無価値なものを、資源として有用化する、さらには、優れた付加価値のある製品を創り出していく活動が、リサイクル事業の根幹になります。そして一般的にゴミ（無価値）といわれるものを有用物に仕上げるために、専門性の高い技術力が要求されます。

具体的には、

本来自然の草木は放っておくと数年でボロボロになり、最後には土（のよう）になります。この数年かかる自然の原理を、卓越した生産技術（力）で加速化、高品質化された商品（堆肥・土壤改良材）を作り出すことが、（有機物）リサイクル事業であり、且つリサイクル事業の成功要因となるわけです。

～まとめ～

ゴミをゴミとして処理・処分するのか？ゴミをゴミと見ず、資源として扱い、優れた付加価値のある製品を製造する（創り出す）のか？と問われた場合、ERCは常に後者の方を選択しています。つまり、リサイクル事業そのものを、静脈産業（処理屋）といわれる業界ではなく製造業（メーカー）としての意識と行動をもって取り組んでいることが他の（外見的）同業者との大きな違いになっているのです。

（堆肥等土壤改良材メーカーとしての）事業コンセプトについて

稼げる畠の土作り

→土を作ることにより、農業の労働生産性を高めることができます。

（これは、農家にもなかなか理解されにくいことですが、）土作りがしっかりとできていれば、肥料・資材の効きもよく、標準施肥設計で栽培することができ、美味しい作物が生まれます。

また、病害も発生しにくくなり、農薬使用量（料）を最低限もしくは不要にすることも可能です。

肥料・資材を余計に買う必要も無く、農薬を買う量も散布する手間も削減でき、収穫量も安定もしくは増加させることができる。連作障害を回避できる。そして何より安全・安心・美味しい作物ができます。…これが「稼げる畠の土作り」と言えるのです。そして、それを実現する「主役（の資材）」が堆肥であり、ERC堆肥は「稼げる畠の土作り」に向けた品質とパフォーマンスを向上のため、色々な工夫を凝らし生産されています。

（今回は詳しい土作りメカニズム・ERC堆肥の品質特性は省略します…）

栽培する人・食べる人の気持ちになつてつくる堆肥

現在、日本の農業界は大きな転機を迎えています。

- ・残留農薬に関する厳しい制度（食品衛生管理法）の実施（ポジティブリスト制）
- ・生産・栽培記録の実施（トレサビリティ）
- ・情報公開（アカウンタビリティ） 等々

食品（人の口に入る）を作る側（メーカー）としては、至極当然のことだと思われますが、多くの農家では大変負担になることです。でも、もう「できません」といえない状況になっていることも事実です。（私個人としては、農家さんには悪いけど、大変良いことだと思っています。）つまり、避けて通れない（法）制度となるということです。

このような、農業に関する各種制度の強化は、消費者（食べる人）の「食の安心・安全」にともなう要望に応え、信頼関係を築くためにつくられたと言えます。

栽培する人・食べる人の気持ちになつてつくる堆肥とは、栽培する人からみれば、（堆肥の）原料に関する安心・安全、（堆肥の）生産工程に関する安心・安全といえます。その結果、できた農作物は、自信をもって安心・安全をうたうことができます。だから、「食べる人」は安心・安全・美味しいと・・・よろこんで買ってくれる農作物となりうるのではないかでしょうか？

ERCは設立当初から、自社の製品に関して、原料の把握、生産の記録、品質のチェック体制を整えています。そして、さらに使い易く効きめのある製品づくりを目指します。